



田んぼの生きもの調査では、講師の林さんが、子どもたちが捕まえた生きものを解説しました



彩の国食と農林業ドリームフェスタでは、スタンプラリーを実施しました

9/14 体験稲刈り& 田んぼの生きもの調査 たくさんの生きものに 触れながら、稲刈りを 体験しました



全国農業協同組合連合会埼玉県本部と埼玉県生活協同組合連合会主催、杉戸町・埼玉みずほ農業協同組合後援で杉戸町高野農村センター及び隣接の田んぼ・草地で、生協組合員等16家族56人の参加で開催しました。
また、11月16日～17日には彩の国食と農林業ドリームフェスタに県生協連とコープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたまの4生協とフードバンク埼玉が出展しました。



埼玉県マスコット「コバトン」

写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020
冬号
No.73
(2020年1月発行)

Top News

10/10

第55回埼玉県消費者大会 「SDGsを自分ごと化して、私たちの暮らしを見つめなおそう!」と題した記念講演や分科会で学びました



午前の団体交流会には、16団体24人が参加し活動報告・交流しました

10/5 さよなら原発埼玉県民集会・ 団体交流会 集会と脱原発や再生可能 エネルギーなどに取り組む 団体が活動交流しました



小出裕章さんは原子力発電の様々な問題点について話されました

さいたま市市民会館おおみやにて、団体交流会と県民集会を開催しました。
団体交流会には16団体24人が参加、県民集会には約850人が参加しました。県民集会では原発事故避難者の現状などについての報告に続き、元京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんに「忘れない、悲惨なフクシマ事故一目を覚まして、原子力を廃絶しよう」と題して講演いただきました。



受賞された消費者団体のみなさん

10/15 令和元年度 埼玉県消費生活功労者表彰式 消費者の利益のための 取り組みに対して 消費生活功労者として表彰



中央:永井さん 右:岩岡さん

埼玉県消費生活功労者表彰式で、消費者団体や消費生活協同組合の活動を通して消費者の利益のために取り組んでくれた16人の方が表彰されました。消費生活協同組合からは、(一財)コープみらい社会活動財団事務局長(前埼玉県生活協同組合連合会会長理事)の岩岡宏保さん、コープデリ生活協同組合連合会副理事長の永井伸二郎さんが表彰されました。



さまざまな立場の役職員が参加しました

11/21 役職員研修会 生協福祉事業の 「中長期戦略中間報告」を 学習しました



講師の山際淳さん

11月21日、浦和コミュニティセンター第13集会室にて開催し、7生協29人が参加しました。今年の役職員研修会では、生協が「生涯を通じたお役立ち」をはたすために、と題して、生協福祉事業中長期戦略検討委員会の中間報告について、日本生協連福祉事業推進本部部長の山際淳さんにお話をいただきました。



基調報告を提案しました

「自ら考え行動する消費者になろう～誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指して～」を大会スローガンに、埼玉会館で25の消費者団体による実行委員会が開催、全体会に500人、午後の分科会に300人が参加しました。大野元裕埼玉県知事にごあいさついただき、基調報告と埼玉県への要請書を提案しました。記念講演は、国連広報センター所長の根本かおるさんに、SDGsと私たちの暮らしについてお話しいただき、持続可能な社会の実現へのかかわりを再認識しました。午後は「食」「消費者課題」「防災・減災」「環境」の4つの分科会で助言者の報告、意見交流などを行いました。



大野元裕埼玉県知事に
ごあいさついただきました



全体会では国連広報センター所長の
根本かおるさんにSDGsと暮らしに
ついて講演いただきました



環境分科会では、
プラスチックごみの現状に
ついて学び、意見交流しました

9/14~15 2019コヨットin埼玉 (福島の子供も保養プロジェクト) 福島の13組の親子が ムーミンバレーパーク などを満喫



ムーミンバレーパークにて



夕食後の貿易ゲームでは大人も子どもも
夢中になって競いあいました



鉄道博物館での
運転士体験

埼玉県生活協同組合連合会と埼玉県ユニセフ協会の共催、ボーイスカウト埼玉県連盟の協力で開催、福島の小学2～6年生と保護者計30人が参加しました。コヨットは、東日本大震災で被災された福島の「子どもの心と成長」と特に「お母さんの心のケア」を大切にしなが保護者の気持ちに寄り添い、子どもと保護者の心身両面からの保養を目的として開催しているもので、ムーミンバレーパークと鉄道博物館を親子で楽しみました。



会員生協の取り組み

広がる 県内生協の 多彩な活動



生活協同組合コープみらい

「コープみらいフェスタinさいたま スーパーアリーナ」を開催しました



10月20日、さいたまスーパーアリーナで医療生協さいたま「健康フェスタ」、「埼玉物産観光フェア」、「国際フェア2019」と同時開催し、約4万5千人の組合員・県民の皆さんをはじめ、大野元裕埼玉県知事も来場いただきました。会場では180を超える団体が出展し、コープみらいの食育「たべる、たいせつ」をテーマに、取引先約60社による試食・販売、親子で学べるSDGsや食の体験企画、組合員の取り組みやステージなどをお楽しみいただきました。

コープみらいの組合員が楽しく学べるSDGsにつながる取り組みを紹介しました

医療生協さいたま生活協同組合

さいわい診療所・ケアセンター かがやき建設まつりを開催しました



川口市内にあるさいわい診療所とケアセンターかがやきは、2021年3月末、移転して新しい施設を建設する予定です。11月17日(日)、建設予定地で「建設まつり」を開催し、新施設の建設を地域に広くお知らせしました。1000人以上が集まり、健康チェック、フリーマーケット、ステージでのパフォーマンスなど、どの企画も人気で、盛り上がりを見せました。組合員とともに建設委員会を立ち上げ、地域のニーズに応える事業所の建設をめざしています。



さいたま住宅生活協同組合

マイホームを安全に 長く使うために 無料住宅診断を実施



住宅生協が創立以来続けている無料住宅診断を今年も実施しました。この診断は、住宅生協の全組合員を対象に毎年秋に実施しています。建築士を中心に、要望のあった組合員1件1件の家を訪問し、組合員立ち会いのもと、実施します。「地震が心配」「壁にひび割れがあるが大丈夫か」「シロアリの被害はないか」耐震性、基礎、屋根、内装、浴槽、トイレなど、組合員のさまざまな心配なことも伺いながら住宅診断を行います。全国各地で集中豪雨などの自然災害が起きていることもあって組合員の関心も多く寄せられています。

生活協同組合パルシステム埼玉

生活困窮者世帯の子どもたちに 青果を寄贈



パルシステム埼玉は9月より余剰青果を子ども食堂等に寄贈する取り組みを始めました。青果は「一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク」と「埼玉県子ども食堂ネットワーク」の2団体を通じて、県内の子ども食堂等に提供し、子どもたちの健全な成長を目指します。9月に第1回目の寄贈を行い、桃やリンゴ、ピーマンやキャベツ、里芋、ジャガイモ、人参などを提供しました。

生活クラブ生活協同組合

三富地域の雑木林で「第4回 さんとめどんぐり村の秋まつり」 を開催しました



11月16日(土)、秋晴れの日恵まれ、出展団体37団体、約500人の来場者・参加者で賑わいました。森で寝転んで聴くコンサート、竹細工づくり、秘密基地づくりやチェーンソー・薪割り体験、所沢産の鶴首かぼちゃカレーなど、多くの方が、ここでしか味わえない体験や、めずらしい食べ物に出会い、楽しいひと時を過ごしました。冬に向けて、落ち葉はき活動のお知らせを行ったところ、ぜひその企画も参加したいという声もいただきました。生活クラブでは、お祭りだけでなく、多くの方に雑木林の整備活動を担ってもらうよう、継続的に活動をすすめています。

埼玉県労働者共済生活協同組合

台風災害に 総力をあげて対応を すすめています



出典:防衛省ホームページ
(<https://www.mod.go.jp/j/approach/defense/saigai/2019/typhoon19/photo.html>)

2019年9月から10月にかけて、台風15号・17号・19号・21号および10月25日の記録的な大雨が日本列島を襲い甚大な被害をもたらしました。改めて被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。こくみん共済coop <全労済>では、被災された組合員の皆さまへの対応を最優先事項と位置づけ、全国から職員を動員し、一連の自然災害により被災された皆さまへの対応を総力をあげてすすめています。埼玉推進部においても、9月18日から1週間交代で職員を動員し、共済金の支払いに向けた被害調査を行ってきました。住宅災害の被災受付件数:全国56,224件うち埼玉県内2,317件 ※11月26日現在

大東文化学園生活協同組合

健康フェス (秋の食生活相談会)を 開催しました



11月11日(月)に、生協学生委員会が準備や呼びかけを行い、乱れがちな食生活や、生活習慣の振り返りと改善を目的に開催し、60人の相談がありました。偏食や運動不足を心配する方が多く、昨年から再度相談に来た学生もいました。血圧が低く、立ちくらみの相談もあり、貧血のアドバイスと、食事のバランスの大切さについて説明したそうです。とても積極的に参加してくれて、アドバイスも素直に聞いてくれた、食生活を見直すきっかけになるという意見が多く、今後も企画を継続し、広めていきます。